キャベツ周年栽培スケジュール 高冷地

凡例（浜松地方標準）●播種 ------育苗期間 ▲定植 ━━収穫期間

	品種名		4月 上旬	4月 中旬	4月 下旬	5月 上旬	5月 中旬	5月 下旬	6月 上旬	6月 中旬	6月 下旬	7月 上旬	7月 中旬	7月 下旬	8月 上旬	8月 中旬	8月 下旬	9月 上旬	9月 中旬	9月 下旬	10月 上旬	10月 中旬	10月 下旬	11月 上旬	11月 中旬	11月 下旬	12月 上旬	12月 中旬	12月 下旬	1月 上旬	1月 中旬	1月 下旬	2月 上旬	2月 中旬	2月 下旬	3月 上旬	3月 中旬	3月 下旬
寒玉	かんろく	播種・定植 収穫	● ▲			▲		●																										●				
	かんぱち	播種・定植 収穫		●	▲		▲																												●		
	初夏808	播種・定植 収穫		▲		▲																												●		●
	幸夏（MA905）	播種・定植 収穫	●		▲																													●		●
	幸錦（寒玉910）NEW	播種・定植 収穫		▲		▲																													●	●
	YR新風	播種・定植 収穫	●			▲		●		▲																											
	YRあおば	播種・定植 収穫		●				●		▲																											
	YR耐病ST	播種・定植 収穫		●				●		▲																											
	YR早どり錦秋	播種・定植 収穫				●			●			▲																									
	YR若虎	播種・定植 収穫					●			●		▲																									

■マスダおすすめ品種（平暖地・高冷地）の栽培ポイント

地域によって栽培留意点が異なりますので、ご不明な点はお問い合わせ下さい。

かんろく P29

各産地の一番早く収穫できる寒玉系品種群タイプ。秋まき早生タイプだが、黒葉系の濃緑色系品種なので寒玉の血が強く感じられる。草姿はややコンパクトではあるが、玉揃いが良く密植が可能で、玉は適期で1.35kg前後のＬ玉で揃うと好評。

かんぱち P30

かんろくの次に収穫する濃緑色の寒玉系。
外葉はコンパクトでやや開張性。玉は濃緑色で、内部は黄色強く良くしまる。

初夏８０８ P30

裂球遅く、在圃性が高い品種。長期に渡って収穫が可能である。尻部の腐敗や株の腐敗といった病気に特に強い。球の表面は少しシワのある寒玉系でワックス強い。食感はシャキシャキと食味良い。

幸夏(MA905) P31

平暖地は５月中下旬から、高冷地７月中旬から収穫が可能な在圃性の高い寒玉。外葉はブルームが強い緑色。開張性でコンパクトな形状である。玉の内部のしまりが非常に良く重量がのる。また芯が低いため可食部も多い。

幸錦(寒玉910) NEW P32

平暖地は5月下旬から、高冷地は7月下旬から収穫が可能な在圃性の高い寒玉。
玉は扁円球で、馬力があり玉太りが良い。

YR新風 P8

耐暑、耐病性強く、良質の平型扁円球。裂球遅く、萎黄病抵抗性種で三季まき可能な寒玉。高冷地４月～５月まきで、８月～９月収穫、平暖地は、秋まき翌春定植で６月～７月収穫に適する。外葉は丸葉で開張性、草姿はＹＲ耐病ＳＴと似ている。比較して葉柄短くコンパクトで密植に適し、球の勝ち負け少ない。

YRあおば P7

黒葉サクセッション系で良質な中生種。平暖地の秋まき６月どり、
高冷地の春まき９月～１０月どりに最適。高冷地の夏どり栽培は黒
腐病が出易いので、多肥栽培に注意する。又、生育初期より薬剤
（銅製剤）散布を徹底して行なうことにより発病がおさえられる。

YR耐病ST P8

黒腐病、尻腐病に強い豊産品種。平暖地の晩秋から
春まき６月～７月どり。高冷地の春まき８月～９月どり
に最適。結球は尻詰まりのよい中玉平型扁円球。

YR早どり錦秋 P6

玉揃い良く一斉に収穫でき、萎黄病抵抗性強く、形のよい良質多収種。ＹＲ錦秋強力１５２より約１週間早生となり、肉質もやや良質の寒玉で、サクサク感のある食感で品質よく市場性が高い。高冷地は９月～１０月どりに最適。

YR若虎 P5

外葉はブルームの強い緑色。開張性でコンパクトな形状だが球伸びは良好な品種。
在圃性が高く、裂球は遅い。玉は葉脈がはっきりしているため、より新鮮さが感じられる。
また内部のしまりが非常に良く、芯が低い。